

検討の背景

- ・ 第2回検討会での委員の皆様からのご意見と対応方針

1. 第2回検討会での委員の皆様からのご意見と対応方針

第2回検討会で頂いた主なご意見		対応方針
バスタへの導入機能について（交通ターミナル機能）		
・松山駅を公共交通の拠点として考えた時、観光機能を評価する必要がある。駅周辺に観光案内所を整備することはもちろん、観光客にとっても居心地が良い魅力ある待合空間を創出することを検討出来たらよい。 ・バスタの通常の機能のほかに、コンビニやレンタカーなども入る可能性があることを勘案し、バスタの機能に入れ込み、作り込んでいく必要がある。		・待合空間やコンビニ、観光情報等の提供についても交通ターミナルに必要な機能として検討する。 【資料4 P5 交通ターミナル機能】
バスタへの導入機能について（交流機能）		
・松山市が進めている、まちなかウォーカブルにおいて、大手町通りとバスタを交通拠点機能や交流の場として位置づけられ、バスタ機能の1つとして考慮してもらいたい。 ・ウォーカブルなまちづくりを進めていく上で、起点として、にぎわいの拠点の一つが松山駅。歩行者に配慮した道の駅のような位置づけになるのではないかな。		・まちなかウォーカブルの推進と合わせ、大手町通りを含めた、交通拠点の機能強化の検討を進める。 【資料4 P8 交流機能】
バスタへの導入機能について（次世代モビリティサービス）		
・モビリティの観点からは、社会が大きく変わり、労働力が不足しており、そういった課題についても考えていく必要がある。		・次世代モビリティサービスについて検討する。 【資料4 P9 次世代モビリティサービス】
バスタへの導入機能について（防災拠点（機能））		
・現状の積み上げだけでなく、未来志向で考えることが必要で、災害時の拠点としての防災機能は忘れてはいけない。 ・南海トラフ発災時に南予に助けに入る際の拠点は、ネットワークを考慮すると松山となる。バスタの防災機能を肉付けし、より具体的に考えていくことが必要。		・支援のための人の発着拠点など、災害時における交通拠点の活用について検討する。 【資料4 P10 防災拠点（機能）】

1. 第2回検討会での委員の皆様からのご意見と対応方針

第2回検討会で頂いた主なご意見		対応方針
バスタへの導入機能について（その他）		
・人の移動という観点から、どのような機能・整備が求められるのかを考えることが必要。		・交通ターミナル機能以外にも、交流機能や次世代モビリティサービスなどについて検討する。 【資料2 P2,P3】
・松山駅はまちに住んでいる人の玄関口でもあるが、日常的な通勤者、出張者も含めた多様な生活者の玄関口でもある。多様な生活者視点の機能が松山駅に求められる。		
・交通ターミナルの機能が強調されがちだが、新たなインフラを整備するうえで、他にどのような機能があるのかを整理することが重要。それらの機能がどれだけ広域的に効果を発揮されるのかを整理することは面白いと思う。		
検討範囲		
・バスタの出入り口が南側になった場合には、南側の市道から県道を通過して大手町通りへ抜けていくように、交通の流れが変わるため、検討範囲を南側の市道も含めた方が良い		・流出入口が南側の市道三番町線になりうることも考慮し、この市道も含めた検討を行う。 【資料4 P7 動線の考え方】
・歩行交通量、自転車交通量、バスの需要を考慮し、空間の再配分を行っていく必要がある。具体的なボリュームを調査し、検討していただきたい。		・今後、事業計画の策定に向けて検討を行う予定

1. 第2回検討会での委員の皆様からのご意見と対応方針

第2回検討会で頂いた主なご意見	対応方針
大手町通りの位置付け ・大手町通りの位置づけは、松山駅に歩いてくる人、歩いて大手町通りを通して堀之内方面に行く人がいることを考えて検討することが必要。 ・観光客の視点は忘れず、緑豊かな線として大手町通りを位置づけるという方向性もある。 ・単純に大手町通りを国道へ移管することは難しい。新たなバスタ機能の中に防災機能としてどのようなものがあるのか、大手町通りも含めて、国道としてのネットワークをどのように考えていくのが非常に重要で、位置付けをしっかりと整理していくことが必要。 ・大手町駅は魅力のある交通結節点であり、大手町通りがバスタ整備の一部となることで、様々な防災機能、回遊機能を高めるための重要な位置づけとなる。 ・大手町通りが楽しみながら歩くことができる空間になることに大変期待している。 ・大手町通りには、住んでいる方、事業者の方もいるため、そういった方々の意見を二一ズ調査で十分に聞きながら進めることが重要。 ・二一ズ調査の実施によって、歩いて暮らせるまちづくりの推進における1つの取り組みのきっかけになればよい。 ・豪雨で重信川の破堤が起きるなどの災害をより具体的に想定し、どのような経路で避難させるのか、あるいは救助に入るのか、一次避難と二次避難の乗り換え拠点としてバスタがどのように機能するのかを、大手町通りとセットで考えることが必要。 ・二一ズ調査から得られる大手町通りの歩道や車線数、植樹などの具体的な案について非常に興味がある。	・大手町通り及び周辺道路に対する利用者二一ズを踏まえながら、大手町通りの機能を強化し、JR松山駅周辺の交通拠点機能の強化を検討 【資料3 P5 拠点間を結ぶ大手町通りに求められる機能】 ・今後、事業計画の策定に合わせて検討を行う予定

1. 第2回検討会での委員の皆様からのご意見と対応方針

第2回検討会で頂いた主なご意見		対応方針
施設配置について		
・お客様にタクシーへの乗り降りを如何にスムーズにしていいただけるかが大事。そういったことを考慮して施設配置等を検討してもらいたい。		・わかりやすく、スムーズに乗り換えできるタクシー乗り場にあわせ、選択乗車ができる複数の乗り場の設置などについて検討する。 【資料4 P3 交通ターミナル機能】
・タクシー乗り場を近距離、中長距離に分けるとい話もあり、そういった機能も踏まえた中で作り込まなければならない。		
・バスタには乗降、乗換等の結節機能が大切。施設配置をどのようなレイアウトにしていけるかを交通渋滞も考慮しながら整理していくことが重要。		・周辺道路への影響について、対策を検討する。 【資料4 P4 交通ターミナル機能】
・バスタのレイアウトによっては交通の流れに支障をきたす可能性もある。災害時に渋滞が捌けないとなれば、バスタの防災機能が果たせなくなってしまうため、交通の観点に配慮して検討してもらいたい。		
エリアマネジメントについて		
・エリアマネジメント組織を早めに形成し、議論しながらバスタに求める機能を整理していく必要がある。		・今後、官民連携策とあわせ、エリアマネジメント組織の形を検討する。 【資料5 P4 官民連携】
・企業が中心となって行政や大学、自治会に声をかけるなど、目標を共有しながら具体化していき、お互いがどうい資源を出することができるかといことを話し合いながら進めていければ良い。		
・まちづくりの機運を高めるために防災教育やまちのビジョンを共有するまちづくりのイベントを開催するなどを地元経済の方と一緒に考え、不動産価値やバリューを高めていくような活動を展開していくことが重要。		・今後、事業の実施にあわせ、市民や専門家、地元を巻き込んだ気運醸成や地域の価値向上について検討したい。